

今月のKYT（危険予知トレーニング）

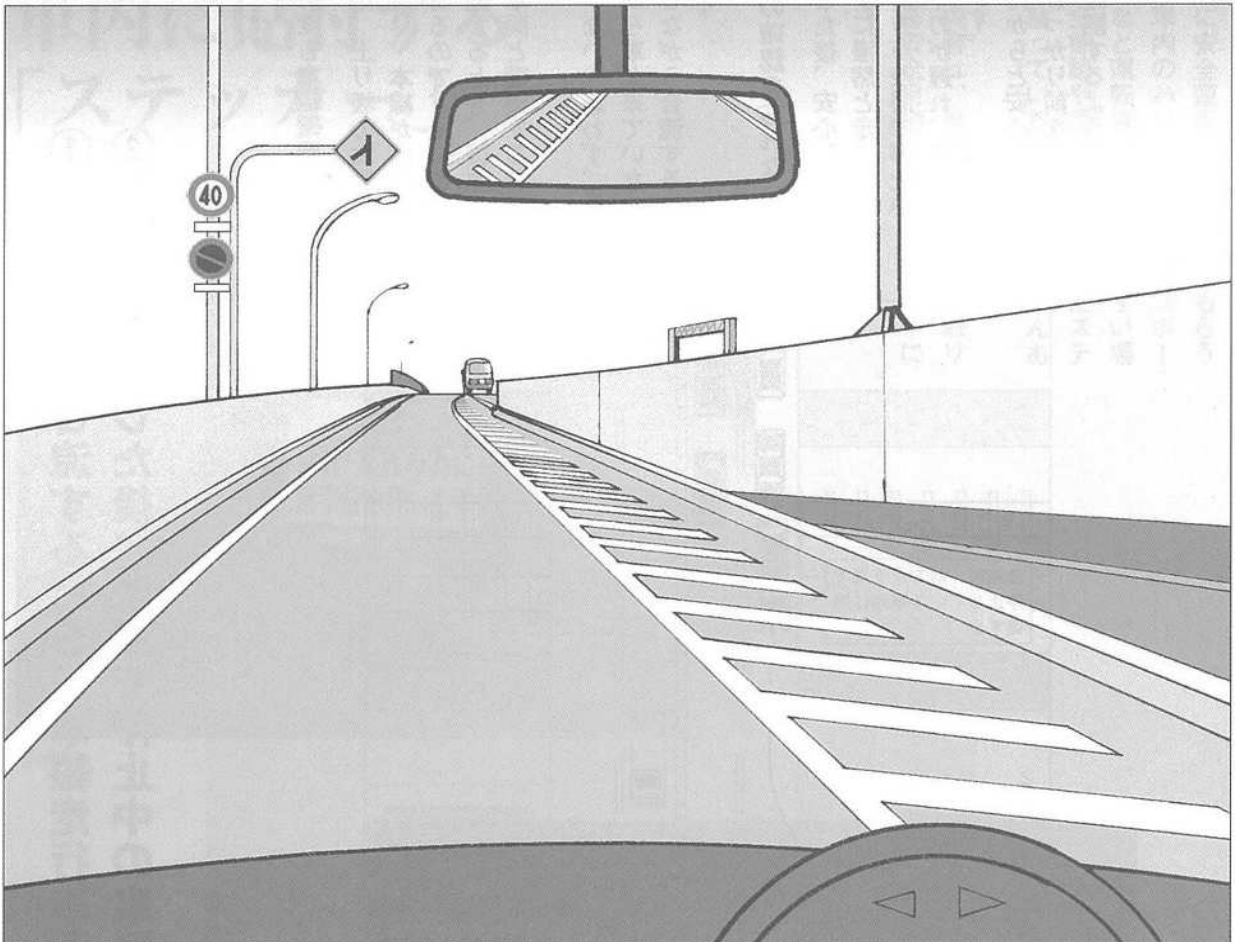
◆ 高架道路の本線に合流しようとしています。

- 合流するため上り坂を走行しています。
- 右側の側壁が死角となって、本線の状況が確認できません。
- 自車はこのまま進んで本線に合流したいのですが・・・。

【解説は次ページ】

下記のKYTトレーニングを実施し、自己の危険予知能力を高めましょう！

Q どのような危険がありますか？



◎ 予想される危険を記入して下さい。 氏名 _____

1 _____

2 _____

3 _____

知 予 危 険 ポ イ ン ト

- ① 高架道路に合流するとき、本線走行車両と衝突する
- ② 本線に合流した後、渋滞で停止中の車両に追突する

合流する際は何度も本線確認する

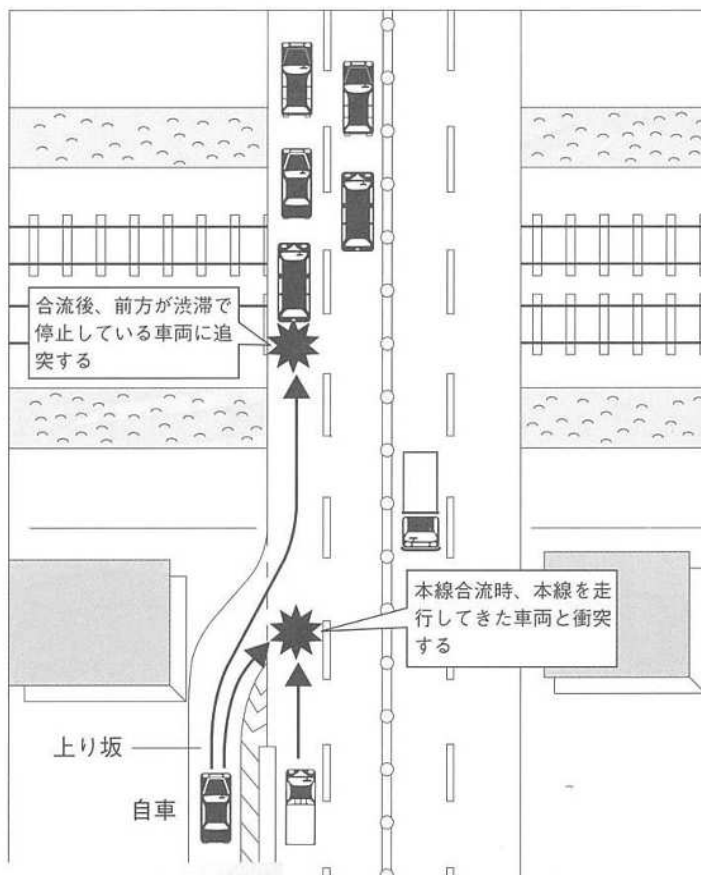
この場面では、上り坂の右側に道路の側壁があり、本線が確認できない状況にあるので、上にあがって本線に合流するとき、後方から走ってくる車両と衝突するおそれがあります。

本線に車がないと思わず、目で本線後方から車が来ていないか何度も確認しながら合流するようにしましょう。

合流後も前方の確認を忘れない

本線に合流した後、安心して前を十分確認せずに漫然と走行していると、本線前方が渋滞で停止中の車両に気づくのが遅れ、追突する危険があります。

無事合流したからと安心しないで、合流後もしっかり前を見て、道路の状況を確認するようにしましょう。



上り坂から本線に合流するときは、
本線の状況を何度も目視確認しよう

KYT(危険予知訓練)は、交通場面を見て、どこに、どういう危険があるかを想像することで、危険を予測する訓練法です。
日々 KYTを行い、危険感受度を高めて防衛運転に役立てましょう。

※ 毎月配信しています。有効に活用し事故防止にお役立てください。